



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

# さきばるだより

創立115年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和5年5月号

令和5年5月30日発行

## 困難を乗り越える力

崎原小中学校 校長 鑑 謙治

奄美も梅雨入りをして、湿気で肌がべたつく季節になりました。いろいろと嫌な季節ですが、この梅雨がないと作物も育たず、のちのち困るのは私たちです。梅雨の嫌な雨も「恵みの雨」だと思つと少し心も晴れやかになるような気がします。

先日、職員研修が行われました。実は我々教職員は、年間30回程度資質向上のための研修をみんなで行っています。そこで話題にしたのが、「間違わせない授業」がいいのか「間違えばかりの授業」がいいのか。という内容でした。教師は、授業の前に教材研究というものを行います。簡単に言うと授業準備です。実際は、1時間の授業を行うために数時間の準備を要することが多いです。その中で、教師は「子どもたちがちゃんと理解できるように」準備をするわけです。しかしながら、〇〇さんはここが苦手だからこうしよう。となってしまうがちです。つまり、間違わないように授業を展開してしまうのです。

ご家庭ではどうでしょうか。以前家庭訪問に行った際、対照的な2つのご家庭を見ました。2人の子どもがお茶を出してくれました。1人はお茶をこぼさないように運んできますが、親御さんが「おぼんをかたおけないようにね。そこは段差があるから気を付けるんだよ。ほら湯飲みが傾いてるがね。」と矢継ぎ早に指示を出していました。もう1人は、親御さんは何もおっしゃいません。ただ、柱の陰に台拭きをにぎりしめてじっと見てらっしゃいました。結果として、2人とも私の目の前でお茶をこぼしてしまったのですが、前者は親御さんがお茶を入れ直し、後者は、子ども本人がこぼしたお茶を拭いた後、もう一度最初からやり直し、ちゃんと自分でお茶を出すことができました。前者の子は、その後はうつむいて泣いていましたが、後者の子はどこか誇らしげでした。

現代の授業は、昔のように教師が一方的に教える講義型の授業ではありません。いわゆる「主体的で対話的な深い学び」を取り組んでいます。教師が一方的に教えるのではなく、児童生徒が、主体的に考え、周りの人と共有しながら、深く考えていきます。そのような中で、最初からうまくいってしまうと記憶に残らないことが多いような気がします。失敗したり、間違ったりする中で、「どうして失敗したのだろう」と考えます。試行錯誤したり、周りの人々と相談することで、それは確かな経験だったり、深い学びだったり、確かな記憶だったりにつながっていきます。

つまり、間違えばかりの授業は、子どもたちの記憶に残る授業になっていくわけです。さらに、間違いを恐れない子どもたちを育てますし、粘り強く答えを導く姿は、将来的には「困難を乗り越える力」につながっていくと感じます。若気の至りといいますが、失敗は周りの大人の励ましや挑戦した過程を褒める大人のおかげで成り立つ言葉です。我々大人は、口を出しすぎず、褒めるところは褒め、子どもたちの成長をじっと待ち続けていけたらと思います。

## ～児童生徒会スローガン～

光  
共に笑おう 共に進もう  
個性で彩る30の夢



## 風水害対策講話・引き渡し訓練

13日(土)に消防の方々に来ていただき、風水害が起こったときの対策や避難の方法について話をいただきました。また、引き渡し訓練ということで、大雨や災害時に子どもたちを迎えに来ていただき、迅速に帰宅する練習も行いました。災害が起こったときのことを考えることは、実際に起きたときに冷静に対応できることにつながります。いざというときの備えをしておきたいと思います。



## マナーアップ講座



19日(金)には、奄美看護福祉専門学校の副校長 寺師敬子先生をお招きしてマナーアップ講座を開きました。中学校を対象とした内容でしたが、人との話し方やかわり方。笑顔の大切さ。接遇の仕方などについて学びました。マスクを常に着ける生活から解放され、人とのつながりが大切になっていく今後、とても重要なことを学ばせていただきました。

## 大山のり子先生来校

23日(火)に大山のり子先生が来校されました。崎原中学校が古見方中学校崎原分校として独立した昭和37年から4年間本校に勤められていたそうです。もちろん本校玄関前にある「歴代奉職職員」にも名前が残っていましたので、その前で写真を撮らせていただきました。大山先生は当時のことを思い出され、すっかり立派になった校舎を見ながら、「あの時は、道路が赤土で大変だった」「立派な教職員住宅に住まわせた」「立派な教職員住宅に住まわせた」などの話をされました。当時のうけもった生徒たちを思い出しながら、皆さんによるしくとのことでした。



## 崎原珈琲倶楽部結成



青田純孝さんの畑で、コーヒーが取れるということを知り、崎原産のコーヒーを作ってみることにしました。保護者や生徒に声をかけ、できるかどうかも分からないのに「崎原珈琲倶楽部」を結成しました。早速、学校から純孝さんの畑までの草刈りをして、子どもたちを連れて収穫に行きました(写真①)。その後水に3日間漬けます(写真②)。そうすることで雑味が消えるそう。次に乾燥させます。これは2週間ぐらいかかるようです(写真③)。これから取り組む作業は、乾燥させた豆の薄皮をむき、焙煎。豆の量は少ないので、皆さんに飲んでもらうことは難しいかもしれませんが、もしおいしいようであれば、少しずつでも飲んでいただけたらと思います。興味がある方は、「崎原珈琲倶楽部」に加入してください。もちろん会費は無料です。

また、コーヒーの木をお持ちで、豆の収穫をしていない方がいましたら、豆をゆずっていただけるとありがたいです。もちろん収穫から珈琲倶楽部でやります。たくさん収穫ができればみんなでお茶会を開きたいですね。



写真①  
コーヒーの実  
赤くなったら収穫時期



写真②



写真③

## 6月の主な行事

- 2日(金) 水泳学習開始(中) プール開き(小)
- 5日(月) 教育実習(～23日)
- 7日(水) 5校合同修学旅行(小, ～8日)
- 9日(金) 複式5校集合学習(小1～4年, 小湊小)
- 14日(水) 研究授業(全学年5時間授業)
- 17日(土) 青少年育成の日
- 18日(日) 家庭の日・市民清掃の日
- 20日(火) ふるさと体験留学(小3～6, ～22日)
- 21日(水) 中学校期末テスト(～23日)
- 23日(金) 租税教室
- 27日(火) 職場体験学習(中, ～29日)

